

事務事業評価表 平成23年度

政策 安心を感じる保健・医療・福祉の充実
 施策 地域福祉の充実
 基本事業 地域福祉活動の推進

事業名 **民生委員活動支援事業**

[5070]

部名	健康福祉部	事業開始年度	- 年度	実施計画事業認定	非対象
課名	福祉課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) 民生委員協議会
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 民生委員活動が円滑に行われるようにする。
手段	(事務事業の内容、やり方、手段) 協議会運営に要する経費(活動費、地区活動推進費、会長会出席旅費)年4回に分け、支払う。 推薦会開催に伴う経費(委員報酬・費用弁償)開催の都度、支払う。

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度当初
対象指標1	地区民生委員協議会数	協議会	9	9	9	9
対象指標2						
活動指標1	補助金額	千円	16,119	16,127	16,177	16,294
活動指標2						
成果指標1	相談・支援・訪問・連絡調整等の件数	回	23,282	20,352	23,018	18,000
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計(A)		千円	16,122	16,175	16,373	16,454
正職員人件費(B)		千円	836	830	806	3,258
総事業費(A)+ (B)		千円	16,958	17,005	17,179	19,712

費用内訳	
22年度	報酬 110千円、旅費 13千円、需用費 25千円、役務費 33千円、使用料及び賃借料 15千円、負担金 補助及び交付金 16,177千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始 背景		事業を 取り巻く 環境変化	
------------	--	---------------------	--

22年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業

妥当である

妥当性が低い

理由
・
根拠は？

民生委員の研修費や旅費を補助することにより、地域福祉活動の一層の推進が図られている。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい

貢献度ふつう

貢献度小さい

基礎的事務事業

理由
・
根拠は？

民生委員が活動を行うための必要最低限の事業である。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

あがっている

どちらかといえばあがっている

あがらない

理由
・
根拠は？

研修会や会議の開催により、地域福祉の担い手である民生委員相互の連携と資質の向上が図られている。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大

成果向上余地 中

成果向上余地 小・なし

理由
・
根拠は？

高齢者の相談については包括支援センターで行われている。相談体制が充実しているため、民生委員に対する相談件数が今後大きく伸びることはないと考えられる。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある

ない

理由
・
根拠は？

必要最低限の事業